

# あかね雲



2015.03.20

## CONTENTS

- |                                       |                    |                                      |
|---------------------------------------|--------------------|--------------------------------------|
| ◆島根県看護協会の主な動き ······ P1               | ◆支部活動 ······ P3    | ◆認定看護管理者教育「ファーストレベル」研修を終えて ······ P6 |
| ◆理事会報告 ······ P1                      | ◆職能委員会活動 ······ P4 | ◆よりよい退院支援について考える！！ ······ P6         |
| ◆助産師の地域偏在と<br>実践力アップをめざします！ ······ P2 | ◆委員会活動 ······ P4   | ◆ナースセンターだより ······ P7.8              |
|                                       | ◆医療安全情報 ······ P4  | ◆ホットひといき ······ P9                   |

NO.144

湧水 ゆうすい

## 看護に専心する 環境作りをめざして

安来市立病院 看護部長 石井 朋子

「看護婦は看護に専心すべきである」と、F・ナイチンゲールは『看護覚え書』の中で述べています。世界に類を見ない高齢社会に突入したわが国では、地域包括ケアシステムの構築を目指し、様々な医療政策の取り組

みが行われています。現在、当院だけでなく多くの病院が大変厳しい環境に置かれています。この様な状況だからこそ、看護管理者は看護職員が看護に専心できる環境を提供することが重要な役割だと考えます。

当院は今年度一般病棟すべてにPNSを導入しました。PNSを実施することで、お互いに支え学び合い、看護職員個々の遣り甲斐感に繋がるのではないかと考えます。今後も「看護に専心する環境作り」を職員と共に目指します。



発行／公益社団法人島根県看護協会

発行責任者／春日 順子 編集／広報委員会

## 島根県看護協会の動き(2015年2月・3月)

項目	月 日(曜)	実 施 事 項	出 席 者	場 所
島根県関係	2月 4日(水)	島根県訪問看護支援検討会	春 日 会 長	サンラポーむらくも
	2月25日(水)	島根県立青少年の家運営委員会	小 森 副 会 長	県立青少年の家
	3月 9日(月)	島根県福祉人材センター運営委員会	春 日 会 長	いきいきプラザ
	3月12日(木)	児童虐待防止対策推進連絡会	春 日 会 長	県庁会議棟
	3月12日(木)	福祉人材確保対策事業担当者会議	小 森 副 会 長	ハローワーク松江
	3月13日(金)	県老人福祉計画・介護保険事業支援計画策定委員会	春 日 会 長	サンラポーむらくも
	3月18日(水)	福祉・人材確保対策ネットワーク会議	三 代 理 事	サンラポーむらくも
	3月18日(水)	島根県災害医療関係機関連絡会議	徳 若 理 事	県民会館
	3月19日(木)	島根県がん診療ネットワーク会議	春 日 会 長	島根大学医学部附属病院
	3月26日(木)	緩和ケア総合推進委員会	三 代 理 事	ツインリーブス
	3月30日(月)	訪問看護研修に関する調整会議	春日会長・三代理事	出雲保健所
看護 日本 協会	2月26日(木)	日本看護協会理事会(2/26・27)	春 日 会 長	JNAホール
	3月 6日(金)	第2回全国職能委員長会	勝部・三瓶・日原・松田	ダイヤモンドホール
島根県看護 協会	2月 5日(木)	常務理事会・理事会・公益社団法人に関する理事研修会	春日会長・理事・監事	看護研修センター
	2月 8日(日)	島根県看護協会・連盟合同研修会(137名) —特定行為に係る看護師の研修制度とは—	春 日 会 長 ・ 松 浦 連 盟 会 長 他	看護研修センター
	2月14日(土)	訪問看護研修(介護支援専門員協会との情報連携:102名)	春日会長・三代理事他	パルメイト出雲
	2月15日(日)	助産師出向支援モデル事業県内報告会	春日会長・徳若理事	ホテル宍道湖
	2月21日(土)	セカンドレベル看護管理実践計画発表会・修了式	春日会長・田辺専任教員	看護研修センター
	2月28日(土)	看護師職能Ⅱ研修会(119名) —施設における終末期のケアと看護倫理—	吉岡看護師職能委員長 看 護 師 職 能 委 員	パルメイト出雲
	3月 4日(水)	看護職のWLB好事例(5施設)発表会	春日会長・小森事業局長他	ビッグハート出雲
	3月 7日(土)	看護管理者セミナー(43名)一看護職と補助者の協働	春日会長・三代理事	看護研修センター
	3月14日(土)	ファーストレベルフォローアップ研修・修了式	春日会長・田辺専任教員	看護研修センター
	3月23日(月)	常務理事会・理事会	春日会長・理事・監事	看護研修センター

## 理事会報告

### ◆第6回理事会報告 平成27年2月5日(木)

#### 【協議事項】

1. 平成27年度重点事業について
2. 平成27年度見込み会員数(案)について
3. 平成27年度委員会等事業計画及び予算要求(案)について
4. 平成27年度支部活動事業計画及び予算要求(案)について
5. 平成27年度認定看護管理者教育課程(ファーストレベル)(案)
6. 平成27年度島根県看護協会表彰(案)について
7. 災害支援ナースの手引き(案)について 一部修正で承認
8. 平成27年度「看護の日」記念のつどいについて
9. 会員管理システムのバージョンアップ(案)について

[承認]  
[承認]

#### 【報告事項】

1. 平成26年度第2回書面理事会報告
2. 島根県看護協会の動き(12・1月)
3. 平成26年度  
助産師出向支援モデル事業報告
4. 平成26年度訪問看護研修会報告
5. 日本看護協会  
看護の症例ビジョン(案)について

**東日本大震災で被災された皆様に、こころからお見舞い申しあげます。**

東日本大震災から早や4年が経過しました。被災で亡くなられました皆様のご冥福をお祈りいたします。

また、被災地の住民に寄り添い昼夜お仕事をされている看護職の皆様方に敬意を表しています。

島根県看護協会(災害委員会)は、災害支援ナースの育成・登録、災害支援ナースフォローアップ研修を実施して、日頃から災害看護の強化・充実に努めています。平成27年度も災害看護研修に参加ください。



# 助産師の地域偏在と実践力アップをめざします!

25年度からの2年間で、厚生労働省看護職員確保対策特別事業として、日本看護協会は「助産師出向支援モデル事業」として委託を受けた。本協会を含む14都県の看護協会がモデル事業に参加し、2年間のモデル事業が終了、平成27年2月15日に県内事業報告会を開催した。平成27年度からは、県が「助産師出向支援事業」として取り組まれる。

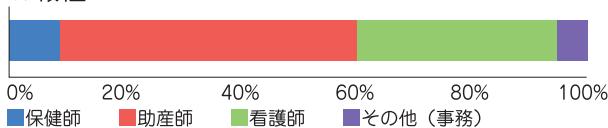
## 《助産師出向支援モデル事業 県内報告会の概要》

- 春日会長は開会あいさつで、看護職のなかで助産師不足の解消は喫緊の課題であり、このモデル事業を通して助産師の就業先の偏在、助産実践能力強化支援、助産学生の実習施設確保等に繋げる取り組みを目指していること。また、出向元・出向先施設の立場や出向助産師からの報告を受けて、助産師出向支援事業の評価につなげたい旨が話された。
- 日本看護協会から常任理事福井トシ子氏を迎えて、「助産師出向支援モデル事業2年間の成果と今後の取り組み」について講演。
- 県行政は「周産期医療の現状と課題」を知念健康推進課長、「看護職員確保対策と課題」を医療政策課看護職員確保G樋野主任、協議会委員代表で小村県医師会会長と県立大学短期大学部の狩野准教授から情報提供をしてもらった。
- 出向元施設は公立邑智病院の日高事務部長、出向先施設は松江市立病院の安達看護局長から現場からの事業報告をしてもらった。
- 出向助産師は、公立邑智病院の多々良助産師、町立奥出雲病院の石原助産師、松江市立病院の山本・真壁両助産師から報告を受けて意見交換に繋げた。4名の出向条件や期間等は異なるが、本来の目的達成が出来たことの確認の機会となった。

## 平成26年度「助産師出向支援モデル事業」県内報告会アンケート 結果

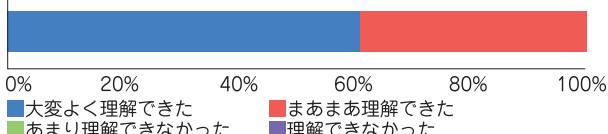
アンケート回収数 23名

### 1. 職種



### 2. 行政の立場からの報告について

(周産期医療の現状と課題・看護職員確保対策と課題)



### 3. 講演について

「助産師出向支援モデル事業2年間の成果と今後の取り組みについて」

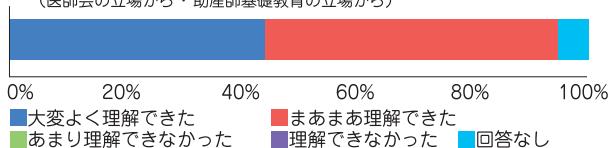


### 7. 報告会を通しての意見・感想

- さらに多くの病院でシステム活用が進むよう、県・看護協会連携のもと、より良い体制整備に取り組んでいただきたい。
- これから参画したい病院の看護管理者・事務の方の参加もあり、事業を前向きに検討されており、次年度に繋がると思った。
- 出向先施設からも、その勤務環境や周産期医療の偏在を理解する目的で助産師を派遣していることを初めて知った。地域間・病院間で協力し合って育成していく形が出来ていて、すばらしいと思った。
- 島根県内の周産期医療はとても厳しい状況にあると思うが、このようなシステムが確立して、心強いと思った。
- 当院でも来年新人助産師を迎える予定なので、その分娩研修としてこの出向システムが活用出来たらと思っている。今回の報告会はとても参考になった。
- 参加した助産師、施設、県、看護協会の前向きな姿勢が成功の原因と思った。関わったすべての方に敬意を表したい。
- この出向モデル事業の活動の重要性を感じた。今後もさらに向上していってほしいと思う。
- 各病院の役割を理解し、お互い協力できるよう、なおかつ自施設の役割が果たせるようにしなければならない。県の医療計画に取り入れ、計画的に実施できる環境を整えて欲しい。コーディネーターの役割が重要なだと分かった。

### 4. 協議会委員報告について

(医師会の立場から・助産師基礎教育の立場から)



### 5. 出向元・出向先施設の立場からについて

(公立邑智病院・松江市立病院)



### 6. 出向助産師の立場からについて



○卒後教育の中の一つとして、半年単位ぐらいでも実践出来ていけば全体のレベルアップにも繋がると思う。コーディネーター、行政など連携で今後も続くことを期待する。

○継続し、次のステップを踏まる事を期待する。

○島根県では上手くスタートしている事が分かった。課題が挙げられていたので、それを元にこの事業がもっと広く活用されていくといいと思った。

○助産師も充分に配置出来ておりませんが、交流を通して視野が広がり、専門性が高められるることは良いことであると思います。人員配置については何か良い案があるといいですね。

○このモデル事業の成果は、とても大きいと感じた。3つの目的達成も伝わった。全体的に各施設の助産のみならず医療・看護の質向上が図られたと思う。又、教育力のある事業であると思った。

○このようなシステムをつくれていただき、感謝したい。今後の助産師の育成に繋げたいと思う。

○医療資源の偏在への取り組みの良いモデルである。行政がしっかりとリーダーシップをとって頂き、他の職種(訪問看護)等にも広げていってほしいと願う。

○大変有意義な活動であると感じた。当院もぜひ参加させていただいたいと思った。

# 支部活動

## 看護職は、災害から何を学ぶ

今年度は、「災害」をテーマに行いました。看護研修会では、島根県防災部防災危機管理課の飯田隆保氏より「島根県の防災対策」について講演をしていただきました。防災グッズや災害時の乾パンの試食、171ダイヤル登録で防災メールが自動的に通知されることなど盛りだくさんの内容でした。島根県看護協会災害看護担当徳若理事からは、「災害看護委員会活動」について、災害支援ナースの3名の方から体験発表をされました。参加者からは、新しい知識を得ることができ、防災への意識が高まったと評



価されました。看護活動交流会では、「いま、ここで地震。貴方ならどう行動する?」をサブテーマに災害支援ナースの渋谷氏の体験発表を聴講しました。紙面上での施設をもとに今地震が起きたらどう行動するかグループワークを行い、発表後に講師よりコメントをいただき、実際の行動との違いがわかりました。地震発生時における看護職としての具体的な行動や役割を学び、日々の生活、看護業務の中で何ができるかを考えさせられました。



## 大田支部活動報告

大田支部では、10月4日に第2回研修会を開催しました。第一部は、松浦昌代連盟会長様に、看護協会の歴史を実体験を交えてわかりやすく講演していただきました。第二部は「ストレッチ＆ヨガとリフレクソロジーでストレス解消!」のテーマで、会場にヨガマットを敷き、身体を動かしました。自分の身体の硬さを改めて知ると共に、身体を動かした後に可動域が広がっていることを体感し、いつの間にか日頃の疲れを忘れ心も身体もリフレッシュすることができました。まちの保健室は、6月にあす



大田支部長 森脇 祐子

てらす、11月にイオン大田店のイベントに合わせ開催しました。あすてらすは47名、イオン大田店は51名の方の参加があり、自分の健康に关心を持っていただいたり、看護協会について知っていただくきっかけになりました。今後も会員相互の交流を図り、地域の皆様の健康増進に貢献できる活動を行っていきたいと思います。



# 職能委員会活動

## 助産師職能委員会活動について

少子高齢社会においては、一人一人の新しい命がより貴重になり、助産師の臨床能力が重要になります。日本看護協会では助産師の臨床能力をレベルⅠ～Ⅳに分類して、全国統一の助産師クリニカルラダーを作成し、能力の向上とキャリアアップを支援し、さらにレベルⅢの認証制度を導入して自律した助産能力を可視化しようとしています。今年度はこの方針のもと活動を行なってきました。現在、県内助産師を対象に認証制度の準備状況についてアンケート調査し、島根県母性衛生学会で発表する予定です。平成27年8月の導入を前に課題を整理し、来年度の活動につなげたいと思っています。



月に1度、委員会を開き、みんなで情報交換しながら楽しく活動しています。委員会での情報交換は自分の施設を客観的に振り返る機会ともなり有意義な時間です。この活動を通して県内助産師の連携を強め、母子保健の向上に貢献したいと考えております。



# 委員会活動

## 平成26年度 在宅ケア・訪問看護推進委員会活動について



「地域包括ケア」という言葉をよく耳にするようになりました。医療・介護・住まい・予防生活支援サービスが身近な地域で包括的に構築されることです。少子高齢化社会となる「2025年」問題にむけて、国の方針は「入院医療」から「在宅医療・看護・介護」へと大きくシフトしようとしています。その実現には、多職種協働をどのように進めていくかが重要な鍵となります。

さて、今年度の研修会では、在宅ケア移行支援研究所の宇都宮宏子先生をお招きして「これからの退院調整・退院支援」～看護師がつなぐ外来・病棟・地域連携～テーマで講義を拝聴しました。82名の参加があり、グループワークでは活発な質問も飛び出て実り深い研修会となりました。

在宅ケア・訪問看護推進委員長 鶴原 郁子

た。アンケート結果でも「退院支援で困っている事が話し合いや講義で知ることが出来た」「いろいろな悩みを共有でき問題解決に役立った」など満足度100%でした。来年度も宇都宮先生の研修会を企画しています。患者様が「退院後も住みなれた在宅で安心してくらすにはどのように支援したらいいのか」を常に考えるきっかけになればと思います。そして、外来・病棟・地域連携・訪問看護師の役割を再認識し、協働にむけて前進していくたいと思います。是非、皆様の御参加をお待ちしています。



# 医療・看護安全情報

## 平成27年10月1日から新しい「医療事故調査制度」が施行になります。

●医療事故が発生した医療機関において院内調査を行い、その調査報告を民間の第三者機関が収集・分析することで再発防止につなげるための医療事故に係る調査の仕組み等を、医療法に位置づけ、医療の安全を確保するものです。詳細については「医療事故調査制度の施行に係る検討会」にて、審議されています。看護協会ニュース、ホームページでご確認ください。



## 認定看護師の紹介

### 「患者さんご家族、医療者と一緒に考える姿勢を大切に活動していきたい」

松江赤十字病院がん看護専門看護師 加藤 由希子



私は、2014年11月にがん看護専門看護師の認定を受けました。現在、看護部がん看護担当に所属し、院内のがん患者指導管理料運用システムの構築・運用、院内のがん看護分野の認定看護師と協働し、がん看護研修の企画運営を行っています。また、外来や入院中の患者さんやご家族、外来・病棟看護師・他職種の方々から相談を受け支援しています。さらに、島根県看護協会緩和ケアアドバイザー養成研修運営委員会の一員として研修の企画運営にも参画しています。

専門看護師には、「実践」「相談」「調整」「倫理調整」「教育」「研究」の6つの役割があります。そして、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術をもち、保健医療福祉の発展に貢献し、看護学の向上に寄与することが求められています。

私は、「相談」や院外活動が、他の役割「実践」「調整」「倫理

調整」「教育」「研究」に繋がっていることを感じながら日々活動しています。私は、1年前まで病棟勤務でスタッフナースとして働いていました。現在の部署に配属となり、院内組織や他施設の方々との繋がりが少しずつ広がってきました。現在私が活動できるのは、医師看護師の他、他職種や他施設の方々との繋がりがあるからこそ、と実感しているところです。現在の部署は、病棟勤務時と比べると直接「実践」を行う場は限られています。「相談」を通して、院内外において、がん看護専門看護師として研鑽できる環境をいただいていることに感謝しています。この気持ちを、がん患者さんやご家族への直接的な「実践」だけでなく、がん看護を実践する院内および県内の看護師・他関係職種の方々への支援に貢献できるよう活動していくと考えています。当面の目標は、一緒に看護を考えていくプロセスを大切にし、日々の活動を通して自施設や地域において自分ができること(役割)を見出していくことです。よろしくお願いします。

### 「がん看護専門看護師としての抱負」

松江市立病院がん看護専門看護師 吉本 歩



昨年の12月にがん看護専門看護師(Certified Nurse Specialist in Oncology:OCNS)に認定されました。よく「なんでCNSになろうと思ったの?」と聞かれます。私がCNSを目指そうと思ったのは、卒後に就職した大学病院での経験からです。婦人科病棟で5年間勤務しましたが、病院の特性から難しいケースが多く、急性期から終末期まで全てを病棟で行なっていました。非常に忙しい中、患者さんの心身のケアも思うようにいかないことも多々ありました。そのような中で、病棟主任がOCNSに代わり、院内のフリーのCNSが日々のケアの相談やスタッフの精神面のケアを行なってくれていました。CNSへ相談すると、答えを教えてはくれません。しかし、考え方や問題解決に近付くためのヒントを色々と教えてくれ、問題解決を行なえるように導いてくれました。自分で解決できるようになると看護が楽しくなりました。

松江市立病院に転職した当初は看護の力の底上げが

必要であると感じていました。実際に病棟で指導的な役割をとると、他スタッフに考え方や問題解決のヒントを伝え問題解決につなげるということは難しく、答えを伝え自分で問題解決を行なった方が簡単であるなと感じました。しかし、共にケアを行って行く中で周囲のスタッフが看護への興味を高めていき看護の力が高まると感じました。そして、私自身が成長しないと更なる変化を起こすことは難しいと感じました。

現在は、緩和ケア病棟でスタッフとして働く傍ら、週に1回フリーでの活動、緩和ケアチームラウンドを行なっています。その中で、CNSの6つの役割である、直接ケア・相談・調整・倫理・教育・研究を行なっています。「CNSとは何をする人?」という所からのスタートですが患者さんの変化を感じています。第一優先は患者さんのQOLの向上です。同時に関わるスタッフへ問題解決のプロセスや考え方を伝えることができ、看護の面白さを伝えていきたいなと思っています。

# 認定看護管理者教育課程 「ファーストレベル」を終えて

専任教員 田辺 美代子

「ファーストレベル」のカリキュラムは、25年度から基準変更となり、人材育成論が加わり7教科目となりました。講師には、全国で活躍されている著名な先生を招き、28日間、分散型で開催しています。中間管理者としての能力の拡大をめざすために、看護管理者の役割機能に必要な基礎知識と実践力を養う内容となっています。

今年度は9月～12月まで研修が続き、受講生50名は講義とグループワーク、課題レポートの提出に追われながらも、出席時間等に制約がありますが、勤務とうまく両立し修了することができました。ヘルスケアシステム論では、「日本の医療制度や社会保障制度を学び、「内容が難かしかったが、病院の位置づけを見定めていく必要だと思った」等、それぞれの施設に繋げて考えることができました。初めは物静かでしたが、日を重ねるごとに、声が大きくなり質問が出るようになったのが印象的でした。

看護師長からスタッフまで、立場は様々ですが、島根県全体のレベルアップを図るために、一緒に学んだ仲間を大事にし、現場で実践に活かしてくれること期待しています。



## 平成26年度 訪問看護に関する研修会

### よりよい退院支援について考える!!

平成26年度は訪問看護研修会(初級コース3回・中級コース3回・管理者コース2回)を開催しました。2月14日(土)には、最終研修会を「入院時から在宅へ医療介護サービスが切れ目なく提供でき、よりよい“療養生活”につながるよう多職種間の連携を考えるねらいに、訪問看護ステーション協会・介護支援専門員協会・看護協会合同で行い、102名の参加がありました。

県医療政策課の杉谷医療専門員から「入退院における病院と在宅サービス事業所間の情報共有に関する調査」報告、次に病院看護師、訪問看護師、介護支援専門員の立場での「事例報告」を受けて、グループワークに繋がりました。

グループワークでは「在宅での療養生活を支えるためのよりよい連携を考える」のテーマで活発な意見交流が深まり、忙しい現場だからこそ一層コミュニケーションを取りタイムリーな情報発信しよう・急性期病院の看護

職にもう少し在宅の視点を持ってほしい等の要望が聴かれ、今後の多職種間の連携のとり方、在宅療養を支えるための情報連携を考える機会となりました。



# ナースセンターだより

## 平成26年度 WLB(ワークライフバランス)好事例発表会 ビッグハート出雲 平成27年3月4日

テーマ

### 「組織・個人で取り組む勤務環境改善について」 ～WLB推進取り組みから医療勤務環境改善支援センター活用～



島根県立中央病院  
WLB改善の取り組み～スタッフ支援室の開設と考課～  
発表者 塩野 悅子氏



奥出雲病院  
「院内暴力」に関する組織体制づくりの取り組み  
発表者 菅田ゆかり氏



松江市立病院  
変則3交代勤務導入後の働きやすさを再検討して  
発表者 内田 恵子氏



特別講演『日本看護協会が取り組んだW·L·B推進事業の経験知・手法・成果』  
労働政策部看護労働課課長 小村 由香氏



松江医療センター  
内服薬準備方法を改善したことによる効果  
発表者 宅和 栄子



看護部門だけでなく、事務部門と一緒に参加している施設も数か所あり、労働環境について施設全体の問題として取り組むようになりつつあると実感できるWLB好事例発表会であった。

大田市立病院  
働き続けられる職場を目指して組織で取り組むWLB～業務量調査、多様な勤務形態、育児支援～  
発表者 看護部 川上 逸子氏・事務部 中祖 伸宏氏



### 移動ナースバンクを ぜひご利用ください!!!

松江・雲南・大田・浜田・益田・隠岐のハローワークが会場!!!  
お住まいの地域の近くで、看護職の就業相談員に気軽にご相談できます。  
お気軽に話においてください。

#### 平成27年度 就業相談会(移動ナースバンク)実施表

地 域	松 江	出 雲		雲 南	大 田	江 津	浜 田	益 田	隠 岐
会 場	ハローワーク 松江	県立中央病院	ジョブ・ステーション 出雲	ハローワーク 雲南	ハローワーク 石見大田	済生会江津 総合病院	ハローワーク 浜田	ハローワーク 益田	ハローワーク 隠岐の島
時 間	14:00~16:00	13:00~16:00							
実施日		4月16日(木)	4月 9日(木)	4月 8日(水)	4月22日(水)	4月15日(水)	4月 8日(水)	4月 9日(木)	4月 8日(水)
		5月21日(木)	5月14日(木)	5月13日(水)	5月27日(水)	5月20日(水)	5月13日(水)	5月14日(木)	5月13日(水)
	6月17日(木)	6月18日(木)	6月11日(木)	6月10日(水)	6月24日(水)	6月17日(水)	6月10日(水)	6月11日(木)	6月10日(水)



看護職の「はたらく」  
をサポート



eナースセンター

医療機関・施設の求人  
をサポート

## 無料職業紹介サイト eナースセンターが新しくなります!

2015年4月13日(月)から新サービス

看護職のための無料職業紹介サイト「eナースセンター」をリニューアルし、  
さらに使いやすくなります。



スマートフォンで  
求職登録から、求  
人検索、応募まで  
対応。

### カンタンに お仕事探し

#### ●簡単ユーザ登録

- \* ナースセンターへの登録が簡単に! ユーザ登録していない場合でも、求人検索(体験版)ができます!
- \* 全ての操作がスマートフォンで可能になります!

#### ●簡単お仕事検索

- \* 勤務地・待遇など条件に合う求人情報を簡単に検索できます!
- \* あなたの希望にあった求人情報を自動的にマッチングし、毎週新しい情報がメールで届きます!
- \* 全国の求人に直接応募ができます!
- \* 地図上から希望勤務地の求人施設が検索できます!



#### 無料職業紹介サイト eナースセンター 利用の流れ



### カンタンに 人材を探す

#### ●簡単求人登録

- \* 従来の登録項目を大幅に削減し、スピーディーに登録できます!

#### ●簡単求職者検索

- \* 条件に合致した人材を簡単に検索することができます!

#### ●看護職への直接オファー

- \* eナースセンターのシステムを通じて求職者へ直接メッセージを送信でき、人材確保のチャンスが広がります!

#### ●看護職からの直接応募

- \* ナースセンターを通さず求職者から直接応募できるようになります!

#### 無料職業紹介サイト eナースセンター 利用の流れ



eナースセンター登録は次のいずれかで出来ます。  
お気軽にご相談ください。

- ① インターネットから...<http://www.nurse-center.net>
- ② ナースセンターへ来所
- ③ 電話で...0852-27-8510



## 「よさこいを通して繋がる人の輪」

島根県立こころの医療センター

上田 明美

私たちはよさこいのチームで、「友輪舞人(ゆうわまいと)」といいます。2004年に発足し、今年で11年目になります。活動拠点である出雲市の出雲大社のご縁から友達の輪で繋がった、踊りが好き、祭りが好き、楽しいことが大好きなメンバーが集まって活動をしています。発足当初は、主に職場の看護師有志数名で始めた活動ですが、今では医師、精神保健福祉士、保育士等々、院内外を問わず様々な職種の人や、保育園児から高校生までの地域の子ども達も参加し、総勢約30名で賑やかに活動しています。毎年行われる

当院の文化祭で演舞を披露していますが、そこでは客席の患者さんも手拍子、足拍子と一緒に楽しんで下さるので、私たちも毎年楽しみにしています。また、斐川よさこい祭りを始め、主に県内各地域のお祭りへも参加して他のチームの方々とも一緒に踊ったりしています。よさこいは、普段の練習やこれらの活動を通して地域の皆さんと触れ合うことができる大切な場となっています。



## INFORMATION インフォメーション

### 平成27年度看護の日記念事業

日時:平成27年5月9日(土)13:00~15:30

会場:くにびきメッセ(松江市)

特別講演:『神々の国しまねについて(仮)』

講師:錦田剛志氏

万九千神社・島根県古代出雲歴史博物館学芸員  
【同時開催:まちの保健室 12:00~13:00】

### 平成27年度島根県看護協会通常総会

日時:平成27年6月6日(土)9:45~

会場:ビッグハート出雲

### 平成27年度日本看護協会通常総会

日時:平成27年6月9日(火)~10日(水)

会場:神戸

平成27年度全国職能別交流集会

日時:平成27年6月11日(木)

## 支部別・職能別会員数(合計) (平成27年3月20日現在)



## 平成27年度会員の 入会手続きはお済ですか

### 【まだ、入会手続きをしていない皆様へ】

平成27年度会員継続申請書を各所属にお届けしております。

- 必ず27年度分申請書を使用
- 印字内容に変更がある時は○印、該当箇所下部に訂正内容記入
- 取得職種の免許番号をすべて正確に記入

## 編集後記

春となり、新人看護職を迎える職場もりフレッシュしますね。

広報委員会では、今年度も取材を行い、会員の皆様に役立つ情報を届けるように努めます。

